

(仮称) 稲城市姉妹都市・友好都市交流協会のたたき台 (骨子)

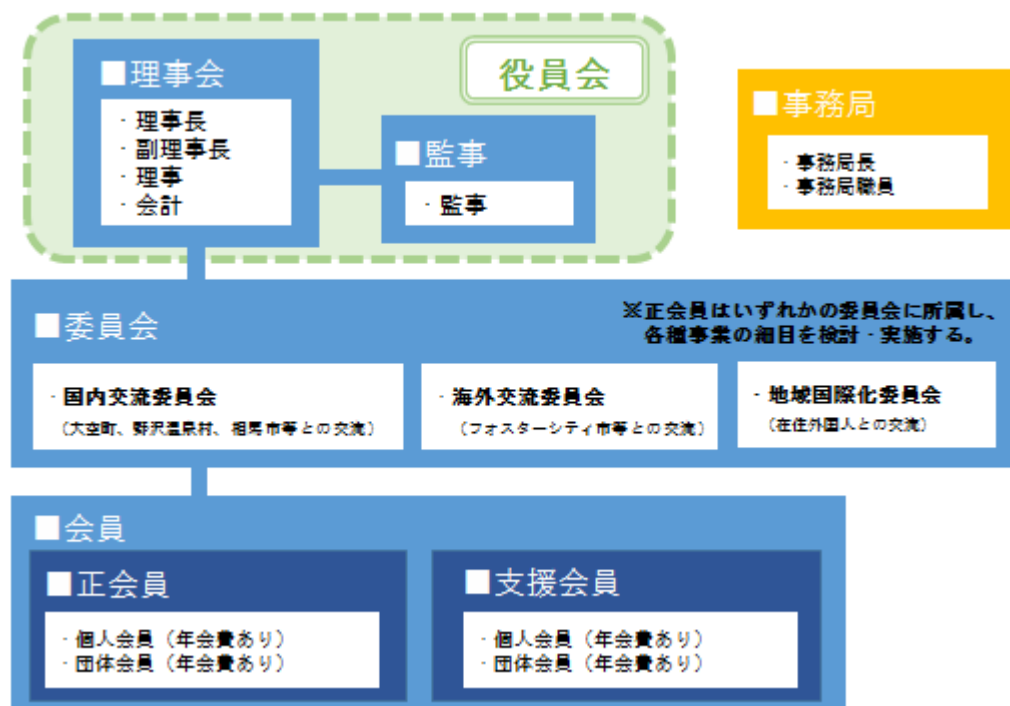
1. 目的

(仮称) 交流協会は、市民が主体となり、稲城市の姉妹都市及び友好都市と市域を越えた相互交流を推進することで、多文化共生による心豊かな市民生活と地域の活性化に寄与することを目的とする。

2. 組織の名称

※ 資料 3 『アンケート結果』の組織名称一覧より選定

3. 組織・事業



※組織は「任意団体」とする。

4. 運営

事務局職員が常駐し、役員を中心に協会を運営する。各委員会は事務局職員及び役員と情報共有しながら活動を行う。

5. 要検討事項

- (1) 運営費の確保 (会費、補助及び助成金、等)
- (2) 交流事業の具体的な中身。